

事業報告書

2年間にわたって泉佐野市と連携・協働をとりながら学識経験者・地域福祉団体・保健福祉関係機関等の協力に加え住民懇談会を開催し「第2次泉佐野市地域福祉活動計画」を策定致しました。今後は、「地域福祉活動計画推進委員会」を設置し、計画を推進してまいります。

また、新たに「基幹相談支援センター事業」を市から受託し、愛称を“あいと”と命名し、障がい者に寄り添ったセンターを推進するために、大学教授によるスーパーバイズ会議や弁護士による定例ケース会議、関係機関連絡会・研修会等を開催し、総合相談窓口や権利擁護支援センター及び虐待防止センター機能を持つことで機能強化を図ることができた。

また、住み慣れた地域で住み続けていくために、少しの手助けをお願いする有償協力員確保の為に「有償協力員養成講座」を開催、協力員の確保と啓発に努めた。

また、災害時における災害ボランティアセンターの支援や、被災地域への派遣、小規模災害における被災者への支援を行うために「災害ボランティア事前登録説明会」を開催し事前登録者を募ることができた。

地域福祉事業については、14地区福祉委員会が主体となり、要支援者への声かけ訪問活動やいきいきサロン・子育てサロン等の地域の特色を生かした小地域ネットワーク活動に継続して取り組んでいただき、社協としては地域の自主防災組織の立ち上げ支援や訓練に参加することができた。

ボランティアセンター事業については、引きこもりが社会問題になっていることから高齢者や障がい者等、誰でも気軽に集える場としてボランティアセンター内に「シャッピー喫茶」を開設し、お茶を飲みながら多くの人たちが会話を楽しんだ。

地域包括支援センター事業については、高齢者の包括的な事業として、高齢者虐待への対応をはじめ、連絡会や研修会を開催。介護支援サポーター事業については登録者の増を目的に、養成講座や登録サポーター交流会を実施した。

災害に強い街づくりを求めるために、関係役職員を対象とした「災害発生時シミュレーション」を開催し、災害ボランティアセンターの役割について再確認することができた。

福祉センター管理事業については、多くの人たちが利用しやすいための管理運営に努め、福祉センターを理解していただくためにふれあい交流会等を開催した。

共同募金事業については、10月1日に市長はじめ社協役職員が空港内で募金活動を開始、スーパーや駅前等での街頭募金活動を実施した。

社協自主財源の確保として、各町会等に協力を求め「社協会員会費事業」を展開したが、昨年を上回る財源の確保とはならなかった。

高齢者・障がい者等社会的弱者の方々にも住みよい地域福祉の推進のため関係者・関係機関と連携し以下の事業に取り組んだ。

〔1〕法人運営関係

法人の運営を円滑にするため下記の会議、研修会を開催した。

- | | |
|---------------------------|-----|
| (1) 定例理事会の開催 | 10回 |
| (2) 三役会の実施 | 2回 |
| (3) 定例評議員会の開催 | 3回 |
| (4) 監査の実施 | 1回 |
| (5) 地域包括担当理事連絡会の開催 | 2回 |
| (6) 基幹相談担当理事連絡会の開催 | 1回 |
| (6) 財務・予算担当理事連絡会の開催 | 2回 |
| (7) 理事・監事・地区福祉委員会合同研修会の開催 | 2回 |

①開催日 / 平成 26 年 11 月 7 日 (金) ~ 8 日 (土)

内 容 / 「住民福祉懇談会の取り組みと
生活困窮者支援の取り組みについて」

場 所 / 東近江市社会福祉協議会 (滋賀県)

②開催日 / 平成 27 年 3 月 8 日 (日)

内 容 / 災害ボランティアセンターの模擬訓練

場 所 / 社会福祉センター

〔2〕地域福祉事業の推進

平成 7 年度より取り組んでいる『小地域ネットワーク活動』は市内すべての地区で一人暮らし高齢者や高齢者・障がい者世帯等への個別支援活動や、町内会館等でのふれあいいいきサロン活動や子育てサロン、世代間交流会などが積極的に開催された。

社協では交流活動の参考にしていただくことと、障がい者スポーツへの理解の促進のために、ポッチャスクールおよびポッチャ交流会を開催し、障がい者を含めた様々な人たちが参加して交流することの楽しさを伝えることができた。

さらに、平成 25 年度に引き続き、各地区で「地域の暮らしを話す会」を開催し、地域の問題の把握や、課題解決に向けた話し合いの場の設定を行うことができた。

1. 小地域ネットワーク活動地区の指定

- | | |
|----------|----------------------------|
| 《 7 年度～》 | (1) 日新地区福祉委員会連合会・・・ [4 支部] |
| | (2) 佐野台地区福祉委員会・・・ [4 支部] |
| | (3) 北中地区福祉委員会・・・ [3 支部] |
| | (4) 三小地区福祉委員会・・・ [3 支部] |
| | (5) 末広地区福祉委員会・・・ [6 支部] |
| 《 8 年度～》 | (6) 一小地区福祉委員会・・・ [8 支部] |
| 《 9 年度～》 | (7) 長滝地区福祉委員会・・・ [4 支部] |
| 《10 年度～》 | (8) 上之郷地区福祉委員会・・・ [7 支部] |
| 《11 年度～》 | (9) 大土地地区福祉委員会・・・ [2 支部] |

- 《12年度～》 (10) 長坂地区福祉委員会・・・〔8支部〕
- 《13年度～》 (11) 日根野地区福祉委員会・・・〔9支部〕
- 《14年度～》 (12) 南中地区福祉委員会・・・〔4支部〕
- (13) 中央地区福祉委員会・・・〔6支部〕
- 《15年度～》 (14) 二小地区福祉委員会・・・〔9支部〕

2. 連絡会の開催

- (1) 地区福祉委員会連絡会の開催 4回
- (2) 支部連絡会の開催 1回

3. 研修会・講座等の開催

- (1) 子育てサロン実施地区研修会・連絡会

開催日 / 平成26年10月27日(火)
 内容 / 「地域ぐるみで子育てを支援する」
 講師 / 甲南女子大学 准教授 鈴木 大介氏

- (2) 研修会の実施(社協理事・監事合同)

- ① 開催日 / 平成26年11月7日～8日(金～土)

内容 / 「住民福祉懇談会の取り組みと
 生活困窮者支援の取り組みについて」

場所 / 東近江市社会福祉協議会(滋賀県)

参加者 / 25名

- ② 開催日 / 平成27年3月8日(日) 午前10時～12時30分

内容 / 災害ボランティアセンターの模擬訓練

場所 / 社会福祉センター

参加者 / 社協理事・監事・地区福祉委員会・民生委員児童委員・災害
 ボランティア事前登録者・社協職員 合計43名

- (3) 小地域を支えるボランティア講座の開催

開催日	内 容	参加者
7月30日 (水)	◇泉佐野市における小地域ネットワーク活動 ◇ボランティア事始め「聴くということについて」 講師：大阪YWCA 中山 羊奈 氏	14名
8月4日 (月)	◇小地域助け合い活動の必要性 講師：龍谷大学 村田 智美 氏	28名
8月19日 (金)	◇認知症への理解 ◇介護予防体操 講師：泉佐野市社協地域包括支援センター	24名
8月25日 (月)	◇「あなたの手洗いは大丈夫？」 講師：大阪社会福祉専門学校 小林 彩能 氏	24名

(4) 機関紙づくり方講習会の開催

開催日	内 容	参加者
7月25日 (金)	◇機関紙の作り方 講師：(株)シイム 石田 章 氏	26名

(5) 障がい者社会参加促進事業「ボッチャスクール」の開催

講 師： 大阪体育大学 講師 曾根 裕二 氏 (各回)

開催日	内 容	参加者
7月28日 (月)	ボッチャスクール	6名
9月10日 (水)	ボッチャスクール	14名
11月11日 (火)	ボッチャスクール	22名
1月21日 (水)	ボッチャ交流会	33名

(6) 小地域ネットワーク活動報告集会の開催

開催日 / 平成27年3月31日(火)

内 容 / 実践報告

①『子育てサロン活動の取り組み』/三小地区福祉委員会

② 日新地区福祉委員会の取り組み/日新地区福祉委員会

講 師 / 大阪体育大学 教授 大谷 悟 氏

参加者 / 283名(地区関係者・福祉事業関係者・一般市民含む)

4. 小地域ネットワーク活動の実績

《個別訪問活動》

項目 支部	ネット数 (世帯)	月1回以上の定期的な訪問			延べ 訪問回数 (回)	延べ 訪問人数 (人)	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障がい者他			
日新地区	131	128	2	1	764	4,029	57
佐野台地区	188	161	27		5,432	6,052	121
北中地区	232	230	2		2,575	5,786	64
三小地区	103	90	9	4	2,884	5,423	72
末広地区	67	64	2	1	1,481	3,095	123
一小地区	207	202	2	3	3,430	7,322	173
長滝地区	45	45			836	2,008	61
上之郷地区	53	34	15	4	683	1,265	84
大土地区	37	32	5		435	726	61

項目 支部	ネット数 (計)	月1回以上の定期的な訪問			延べ 訪問回数	延べ 訪問人数	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障がい者他			
長坂地区	159	140	14	5	2,871	4,282	100
日根野地区	163	141	19	3	2,452	3,251	228
南中地区	176	176			2,910	8,029	90
中央地区	195	190	1	4	4,328	6,542	111
二小地区	169	166	1	2	3,443	5,261	168
合計	1,925	1,799	99	27	34,524	63,071	1,513

《グループ支援活動》

項目 支部	実施回数 (計)	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきサロン	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
日新地区	97	70	3	24	1,798	549
佐野台地区	46	42	4	0	1,505	714
北中地区	64	48	6	10	2,169	641
三小地区	82	7	4	71	1,039	579
末広地区	62	36	3	23	760	359
一小地区	251	188	15	48	6,552	1,487
長滝地区	47	37	1	9	565	442
上之郷地区	66	51	5	10	1,410	372
大土地地区	33	24	9	0	1,175	162
長坂地区	180	147	33	0	4,030	626
日根野地区	260	229	10	21	3,885	1,311
南中地区	99	66	23	10	1,802	573
中央地区	156	82	8	66	2,314	770
二小地区	332	258	50	24	4,916	929
合計	1,775	1,285	174	316	33,920	9,514

6. 地域の暮らしを話す会の実施

地区	開催日	場所	参加者数
日新	2月16日(月)	日新小ミーティングルーム	35
佐野台	2月8日(日)	佐野台集会所	19
北中	2月27日(金)	鶴原町会館	25
三小	2月15日(日)	春日町会館	32

地区	開催日	場所	参加者数
末広	2月20日(金)	東羽倉崎南町集会所	33
一小	2月19日(木)	元町会館	37
長滝	2月4日(水)	長滝第1町会館	46
上之郷	12月18日(木)	上之郷小学校・多目的室	19
大土	1月31日(土)	土丸町会館	40
長坂	3月10日(火)	次世代育成交流センター	30
日根野	11月15日(土)	日根野町会館	41
南中	1月21日(水)	南部市民交流センター	44
中央	3月14日(土)	中町町会館	16
二小	1月29日(木)	福祉センター	34
合計 14 回		のべ参加者数	451 名

〔3〕 災害に強い街づくり事業の推進

地域福祉活動支援の一環として、必要に応じて情報提供や相談支援を行なった。

また、平成26年10月13日に発生した台風19号による床上浸水被害に対して個人宅への支援を行なった経験を踏まえ、災害ボランティア事前登録事業を開始しました。

1. 関係役職員を対象とした災害発生時のシミュレーションの実施

災害救援マニュアルに基づき、災害発生時の地域住民による被災者のニーズ、収集および災害ボランティアセンターでの受付の流れを再確認した。

開催日 / 平成27年3月8日(日) 午前10時～12時30分

内容 / 災害ボランティアセンターの模擬訓練

場所 / 社会福祉センター

参加者 / 社協理事・監事・地区福祉委員会・民生委員児童委員・災害ボランティア事前登録者・社協職員 合計43名

2. 図上訓練用大判地図の提供

6地区(高松町・高松北町・高松東町・貝田町・南泉ヶ丘町・西出町)

3. 自主防災会組織等への活動支援・出席等

開催日	地域	内容
6月1日(日)	高松北・高松東	草の根防災訓練(図上訓練)
6月21日(土)	南泉ヶ丘	草の根防災訓練(図上訓練)
7月12日(土)	貝田町	草の根防災訓練(図上訓練)
10月25日(土)	三小地区	津波・洪水避難計画ワークショップ
10月26日(日)	末広地区	防災訓練
10月26日(日)	高松町	防災訓練(「地域コミュニティについて」)
11月16日(日)	泉ヶ丘	自主防災隊・防災訓練(災害VCについて)

開催日	地域	内容
2月14日(土)	日根野	防災研修(稲村の火の館)
2月22日(日)	西出町	草の根防災訓練(図上訓練)
3月8日(日)	貝田町	草の根防災訓練(避難訓練ほか)
3月28日(日)	三小地区	防災連絡会総会

4. 災害ボランティア事前登録事業

(1) 研修会の実施

開催日 / 平成27年1月31日(土)午後1時30分～3時30分

内容 / 災害ボランティアの役割について

講師 / 大阪府社会福祉協議会 地域福祉部 青木 淳 氏

(2) 事前登録事業 登録者 19名

5. 泉佐野市安心生活創造推進事業 生活課題調整・検討会議の実施

開催回数 8回 参加機関 4機関

[4] ボランティアセンター事業の推進

ボランティアセンター運営委員会により、ボランティアセンターの運営及びボランティア講座・研修会やイベントの検討、開催を行なった。

新規ボランティア発掘のために、はじめてのボランティア講座や、ボランティアフェスティバルの開催、登録ボランティアのスキルアップのため、ボランティア入門講座やステップアップボランティア講座の開催、壊れたおもちゃを無償で修理するボランティアグループや、日曜大工が好きなメンバーが高齢者や障がい者等の生活の困りごとを支援するボランティアグループの立ち上げ支援を行なった。また、金曜日にはボランティアセンター運営委員が午前/午後各2名交代でボランティアセンターの運営にあたった。

登録ボランティアグループ、登録施設を対象に連絡会を開催し、情報交換を行なった。

また、5名のボランティアアドバイザーがボランティアの相談にのり、施設(団体)との調整役として活動を行なった。

1. 各種会議の開催

- | | |
|--------------------------------|-----|
| (1) ボランティアセンター運営委員会の開催 | 4回 |
| (2) ボランティアアドバイザー連絡会の開催(サロン開催時) | 12回 |
| (3) 登録ボランティアグループ連絡会の開催 | 2回 |
| (4) 登録施設担当者連絡会の開催 | 2回 |

2. サロン・ド・ボランティアの開設とボランティア活動のコーディネート

(1) 個人登録ボランティア

毎月開催のサロン・ド・ボランティアにおいてボランティア活動のコーディネートを行い、新規団体からの活動依頼もあり活動受入の幅が広がった。平成26年度の3月末の登録ボランティアは148名、延べ活動人数は1,876名である。内訳は下表のとおり。

分野	施設名	活動内容	延べ活動者数
保 育	木馬園	一時保育	58名
高齢者	幸テ伊ービセンター	話し相手、レクリエーション補助	50名
	泉ヶ丘園	外出付添、レクリエーション補助	74名
	アムリタ	話し相手、レクリエーション補助	116名
	グループホーム泉州	レクリエーション補助	137名
	暢楽荘	レクリエーション補助	69名
	犬鳴山荘	レクリエーション補助	59名
	エルダーケア	レクリエーション補助	319名
	栄公苑	レクリエーション補助	72名
	来友館	囲碁・将棋対戦相手、レクリエーション補助	20名
	ラポート	レクリエーション補助	53名
	優人会	レクリエーション補助	22名
障がい者 (児)	スポーツ教室	スポーツ介助	57名
	ぎんなん、ふ・ふ・ふ	作業補助、スポーツ介助	80名
	ベルカント	作業補助	240名
	すずらん	レクリエーション補助	14名
	泉友会	レクリエーション補助	7名
	ささゆり作業所	イベント手伝い	15名
社 協	声のボランティア	市報朗読	136名
	ボランティアセンター	イベント手伝い、サロン喫茶、相談受付	229名
	行事		117名
	サロン・ド・ボランティア		77名

(2) グループ登録ボランティア

ボランティアグループの育成・支援をするために無償でボランティアセンターや福祉センターの会議室や機材等の貸し出しを行い、また、社協事業において登録グループに協力を求め、外部からの派遣依頼に対しグループの紹介を行なった。

3月末の登録ボランティアグループは12グループである。

ボランティアセンターからの活動依頼及び紹介による活動実績は下記のとおり。

グループ名	活動内容	活動回数	延べ活動者数
ぶどうの会	おせち料理の箸袋づくり	1回	25名
	物品提供（社協チャリティバザー）	1回	25名
手話サークル いちよう	手話通訳（社協チャリティバザー）	1回	3名
	手話通訳（社協ふれあいクリスマス会）	1回	2名
	手話通訳（ボランティアフェスティバル）	1回	3名
リフォーム なでしこ	社協ふれあいクリスマス会プレゼント制作	12回	96名
ヘルスメイトの会	チャリティバザー事業手伝い	1回	5名

3. 講座及び研修会の開催

(1) ボランティア入門講座

登録ボランティアが、安心してボランティア活動に参加できるようボランティア入門講座を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数		
			申込者	アドバイザー	合計
6月 9日	社協	・車椅子・マスクの取り扱い、交流	4名	5名	9名
1月 20日	研修室		5名	5名	10名

(2) はじめてのボランティア講座

これからボランティア活動をしてみようと思っている人たちが活動の第一歩を踏み出していただくきっかけを作るとともに新規の登録ボランティアを増やすことを目的にはじめてのボランティア講座を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数
8月 5日	社協研修室	ボランティアって何だろう？ ～楽しくみんなが元気になる生き方、 新しいボランティア・ライフのすすめ～ 講師：大阪教育大学 准教授 新崎 国広 氏	26名
8月 27日	社会福祉センター	サロン・ド・ボランティア見学	6名

(3) ステップアップボランティア講座

登録ボランティアや受入施設（団体）が、ボランティア活動の心構えを理解することで、資質向上を図ることを目的にステップアップボランティア講座を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数		
			申込者	アドバイザー	合計
3月25日	社会福祉センター	ボランティア活動をするうえでの心構え・受け入れるうえでの心構え 講師：大阪教育大学 准教授 新崎 国広 氏	64名	5名	69名

(4) ボランティア日帰り研修会

登録ボランティアの資質向上と親睦を図ることを目的とする。

開催日 / 11月19日(水)

場 所 / 人と未来防災センター

参加者 / 54名

(5) ボランティアセンター運営委員視察研修会

先進地区の視察研修を行い、運営委員の資質向上を図ることを目的とする。

開催日 / 8月8日(金)

場 所 / 高槻市ボランティア・市民活動センター

参加者 / 15名

4. 各種行事

(1) 障がい児者ふれあい交流会

市内在住の障がい者、関係団体、ボランティア等が連携をとりながら人とのふれあいを通じて障がいについての理解と認識を深めるために、障がい者社会参加促進事業と合同で開催。

開催日 / 2月21日(土)

場 所 / インスタントラーメン記念博物館

内 容 / インスタントラーメン作りによるボランティアとの交流 他

参加者 / 対象者・同伴者 30名・ボランティア等 15名 合計 45名

(2) 第36回 社協チャリティバザー

社会福祉関係団体及び協力団体・グループが、あらゆる品物を持ち寄り市価の半額程度で一般市民に販売、売上金はすべて市民の福祉活動のために使用する。

売上金 1,714,442円 (昨年比 -51,747円)

開催日 / 12月14日(日)

場 所 / 社会福祉センター

内 容 / 物品販売・オークション・喫茶コーナー等

協力者 / 各種団体 66名・ボランティア 41名・社協関係者 17名
合計 124名

(3) 第36回 社協ふれあいクリスマス会

障がいをもつ児童や家庭児童相談員が関わっている子ども、両親のいない児童や交通遺児を対象に開催。

開催日 / 12月20日(土)

場 所 / 泉の森ホール レセプションホール
 内 容 / 音楽ショー、大道芸、理科実験、手作りプレゼント
 参加者 / 対象児童 39 名・同伴者 83 名・ボランティア 40 名
 合計 162 名

5. 登録ボランティアグループ作業室利用件数

	AM	PM	計		AM	PM	計
4 月	3	14	17	10 月	6	9	15
5 月	8	10	18	11 月	5	8	13
6 月	5	9	14	12 月	5	8	13
7 月	4	7	11	1 月	3	6	9
8 月	1	4	5	2 月	4	8	12
9 月	4	8	12	3 月	3	4	7
				合 計	51	95	146

6. 善意銀行 寄託・払い出し状況

寄 託 件 数	4 1 件
寄 託 金 額	6,394,463 円
寄 託 物 品	ベルマーク、車椅子、布

払 い 出 し 件 数	8 件	
払 い 出 し 金	① 障がい児のためのサマースクール	50,000 円
	② 社協だより発刊	156,628 円
	③ ボランティアフェスティバル開催諸費	107,792 円
	④ チャリティバザー開催諸費	120,000 円
	⑤ ふれあいクリスマス会開催諸費	91,636 円
	⑥ 社協事務所建物購入費用	5,000,000 円
	⑦ ボランティアセンター改修工事	950,000 円
	⑧ ボランティアセンター附属設備・消耗品等	1,656,957 円
合 計		8,133,013 円

〔5〕 総合相談事業の推進

『心配ごと相談所』の相談実績は以下のとおりで、内容に応じて関係機関等と連携し、問題解決の調整を行なった。

1. 心配ごと相談所の開設

相 談 員 数 1 3 名
 開 設 延 日 数 4 4 日（うち出張相談 1 日）
 出 席 延 相 談 員 数 9 2 名
 相 談 者 数 2 7 名（うち出張相談 3 名）

相談件数
相談員連絡会議
出張相談

38件（うち出張相談3件）
4月2日（水）福祉センター2階
12月3日（水）相談員9名
いこらもーる泉佐野

※相談状況

内容 対象者	家族関係	他の人間関係	病気	仕事	法律	金銭関係	その他	計
高齢者	7	4	3	0	0	2	2	18
障がい者	2	1	0	0	0	0	1	4
子育て中の親	2	0	0	0	0	0	0	2
その他	5	0	0	1	1	4	3	14
計	16	5	3	1	1	6	6	38

※対応

傾聴 18件

助言 18件

他機関紹介 7件（市役所2件・地域包括支援センター2件、法テラス1件
基幹相談支援センター1件、司法書士会1件）

〔6〕コミュニティソーシャルワーカー（新池校区担当）設置事業の推進

要援護者からの相談状況

相談内容 対象者	サービス 福祉制度・	生活	健康・医療	生活費	就労	DV・虐待	住宅	子育て	その他	合計
高齢者	14	28	5	1		3			37	88
障がい者	12	17	19	5	5	4	7		7	76
一人親家庭の親子	1	1		8						10
その他	2	88	5	21	1	3	30		2	152
合計	29	134	29	35	6	10	37	0	46	326

〔7〕在宅福祉活動の推進

在宅で安心して生活し続けるための一助にと取り組んだ『高齢者給食サービス事業』は、市内に設置されている福祉施設（団体）や民生委員児童委員等との連携をはかりながら実施した。また、外出困難な高齢者や障がい者等に対して『福祉車両』及び『車椅子』の貸し出しを行なった。

その他、新たな取り組みとして、公的サービスで支援できない在宅の要援護者の生活上の困りごとを支援するために、『有償協力員派遣事業』を平成27年度より開始すべく、要

網の設置や協力会員の養成を行なった。

1. 高齢者給食サービス事業

(1) 普通給食の配食	毎週火曜日（昼食）
給食利用者数	68名
延給食実施回数	36回
延配食数	1,623食
(2) おせち料理の配食	12月31日
配食数	44食
(3) 調理補助ボランティア活動数	延べ138回
(4) 給食サービス事業調理協力施設（団体）連絡会議の開催	1回
(5) 給食調理補助ボランティア連絡会議の開催	1回
(6) キイステーション連絡会の開催	1回

2. 福祉車両貸し出し

利用者数 9名 / 貸出回数 延べ29回

3. 車椅子貸し出し

利用者数 11名 / 貸出回数 延べ12回

4. 有償協力員派遣事業

(1) 有償協力員派遣事業 説明会

日時 / 2月16日（月）午後2時～4時

場所 / 社会福祉センター 3階

内容 / ◇地域の困りごとと有償支援活動の意義

池田市社会福祉協議会 新地 敦彰 氏

◇高齢者の暮らしと困りごと

泉佐野市社協地域包括支援センター

参加者 / 40名

(2) 会員の登録状況

協力会員 / 13名

〔8〕地域包括支援センター事業の推進

「高齢者が安心して地域で生活を送ることができる」ことを目的に各事業に取り組んだ。総合相談窓口として、本人・家族・他機関からの相談を受け、関係機関・多職種との連携支援を行なった。

介護予防業務として、高齢者が要介護状態にならないように要支援者などに介護予防計画の作成や介護予防に関する講演会の開催。また、地域からの希望テーマに合わせた出張講座を実施した。高齢者・家族を支援する地域の多職種、関係機関との会議や研修、支援を行なった。

認知症施策総合推進事業として、認知症の人やその家族、認知症に関心のある人、専門職がお互いに交流と認知症への理解を深めることを目的として認知症カフェ（オレンジカフェ いずみさの）や地域の情報資料として「認知症ケアパス」の作成をした。

1. 支援の基盤整備

(1) 地域包括ケア会議の開催

開催回数 4回 参加機関 14機関

(2) 高齢者虐待早期発見・見守りネットワーク

会議 1回 参加機関 17機関

研修会 1回 参加人数 82人

高齢者虐待防止活動

高齢者虐待通報への対応件数 42件

担当者会議開催数 42回

(3) 多職種連携会議

開催回数 1回 参加機関 12機関

研修会 ①りんくう愛たいネット(泉佐野市田尻町多職種連携交流会)
3回 参加人数 207人(延べ)

②泉佐野泉南医師会圏域研修会
1回 参加人数 137人

2. 総合相談・権利擁護

(1) 相談状況

相談実人数		623人	
相談延べ件数(対応回数)		3,663件	
相談形態内訳	訪問	927	25.3%
	来所面接	528	14.4%
	電話	2,208	60.3%

(2) 相談内容

相談内容		件数	割合
介護保険関係	介護保険制度	480	6.3%
	ケアプラン	638	8.3%
	サービス	974	12.7%
	施設入所	233	3.0%
	小計	2,325	30.3%
介護保険関係以外の 福祉サービス	緊急通報装置など(福祉制度)	75	1.0%
	ボランティアなど(制度外)	88	1.1%
	小計	163	2.1%
医療・保健相談	保健予防	56	0.7%
	入退院など(医療)	516	6.7%
	小計	572	7.4%

相談内容		件数	割合
家庭介護・介護者支援	認知症	1,126	14.6%
	身体介護	32	0.4%
	精神介護	38	0.5%
	家庭環境	1,041	13.5%
	小計	2,237	29.0%
権利擁護	成年後見制度など	284	3.7%
	財産・経済問題など	731	9.5%
	虐待関係	1,013	13.2%
	近隣トラブルなど	24	0.3%
	小計	2,052	26.7%
その他生活上の相談	社会生活など	136	1.8%
	他	211	2.7%
	小計	347	4.5%
合計		7,669	100%

(3) ブランチ型総合相談業務

委託事業所 5か所 年間相談件数 194件

- ・犬鳴荘在宅介護支援センター
- ・在宅介護支援センター 泉ヶ丘園
- ・在宅介護支援センター ホライズン
- ・在宅介護支援センター 和
- ・レポート在宅介護支援センター

活動内容 高齢者の相談窓口 虐待・対応困難事例の支援
地域包括ケア会議・高齢者虐待防止ネットワーク会議への参加

3. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

(1) 介護支援専門員に対する支援

ケアマネジャー支援件数 694件

(相談内容)

支援数	支援内訳 (延べ)				
	ケアマネジメント	社会資源紹介	主治医連携	虐待防止	その他
694	734	26	9	288	118

(2) 事業所向け研修会

開催日	内容	参加人数
5月19日(月)	事例検討会	24
7月26日(土)	研修会 「医療と介護のネットワークで支える食生活へのアプローチ」	49
9月19日(金)	事例検討会	17

開催日	内 容	参加人数
10月17日(金)	主任ケアマネジャーのつどい	52
1月19日(金)	事例検討会	15
1月29日(木)	研修会 「平成27年度介護保険の法改正と適切なケアマネジメントを学ぼう」	111

(3) 介護支援専門員連絡会活動支援

開催回数 5回

6市町ケアマネジャー合同連絡会 3回 関連研修参加 2回

4. 介護予防マネジメント

要支援者・二次予防事業対象者に対する介護予防ケアプランの作成

要支援者：介護予防計画延べ作成件数 8,422件

(内訳) 包括作成 2,099件 委託件数 6,323件

二次予防事業件数：介護予防計画アセスメント件数 52件

5. 出張講座・介護予防教室等

介護予防・認知症・高齢者虐待・消費者被害などに関する内容 69回実施

延べ2,914人

6. 平成26年度介護の日 記念講演会

開催日 / 平成26年11月15日(土) 午後1時30分～3時

場 所 / 社会福祉センター 3階 大会議室

内 容 / 記念講演「元気なうちに考えよう！終のすみか」

講 師 / 米澤 なな子氏 (高齢者住宅情報センター大阪)

参加者 / 61名

7. 介護支援サポーター事業

登録申請者数	登録者数	活動人数 (実数)	活動人数 (延べ)	活動回数 (延べ)
8名	41名	7名	44名	198回

(1) 介護支援サポーター交流会

開催日	内 容	場 所	参加数
9月26日(金)	介護予防体操・意見交換	社会福祉協議会 2階 研修室	13
12月8日(月)	大人のラジオ体操・意見交換	社会福祉協議会 2階 研修室	9
2月27日(金)	受入れ事業所施設との交流	社会福祉センター 3階 大会議室	23

8. 認知症施策総合推進事業

(1) オレンジカフェいずみさの (認知症カフェ)

毎月1回 13時30分～15時30分 社会福祉センター3階 (※は2階)

開催日	内 容	参加人数
4月16日(水)	「日ごろ不便や不安に感じること」など	24
5月16日(金)	「地域や社会がどんな風になればいいか」など	22
6月18日(水)	「物忘れについて」など	33
7月18日(金)	「認知症介護・支援について」など	27
8月20日(水)	「金銭管理について」など	35
9月19日(金)	「フリー」など	37
*10月15日(水)	「オレンジカフェのあり方について」など	28
11月21日(金)	講演会「認知症について」 講師：水間病院 岡 秀雄医師	34
*12月17日(水)	「こんなサービスがあれば」など	20
1月16日(金)	「認知症の関わりと受診について」など	27
*2月18日(水)	「在宅生活を続けるには」など	32
3月20日(金)	「私の健康法」など	31
3月23日(月)	講演「認知症カフェの活動と今後の展開について」 講師：認知症の人と家族の会 鈴木和代氏	55

(2) 認知症ケアパス作成と配布

(3) 認知症サポーター養成講座

開催回数 23回

養成サポーター数 1,423人 (うち、1,421人へオレンジリング配布)

・包括対応 21回 1,376人受講 (うち、1,357人へオレンジリング配布)

・事業所のみ対応 2回 81人 (うち、64人へオレンジリング配布)

(4) 成年後見制度講演会

開催日 / 平成26年7月12日(土) 午後1時30分～3時

場 所 / 社会福祉センター 3階 大会議室

内 容 / 記念講演「教えて先生！暮らしを守る成年後見制度」

講 師 / 道下 謙太郎氏 (公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート)

参加者 / 35名

〔9〕 基幹相談支援センター事業の推進

本年度、新たに泉佐野市・田尻町より基幹相談支援センター事業を受託し、基盤整備に取り組むとともに、障がい者とその家族が、地域で安心して暮らすとともに、多様な社会参加を行うことができることを目的に事業を行なった。

より住民に親しみをもってもらいたいことを目的に愛称を公募し、I(あい)＝「わたし」がわたしらしく生活ができるよう「愛」でト(と)ータルに支援するという意味を込めて、

「泉佐野市・田尻町基幹相談支援センターあいと」に決定した。

1. 基幹相談支援センター業務

(1) 総合相談とスクリーニング機能

身体障がい、知的障がい及び精神障がい等に対応した総合相談窓口の設置並びに特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所への適切なつなぎを行なった。

●相談状況

相談実人数		122人
相談延べ件数（対応回数）		692件
相談形態内訳	訪問	75件
	来所面接	142件
	同行	12件
	電話	276件
	関係機関連絡調整	138件
	個別支援会議	41件
	その他	8件

●相談内容

相談内容	延べ件数
福祉サービスの利用等	80件
障がいや病状の理解	139件
療養・医療	75件
不安の解消・情緒安定	129件
保育・教育	1件
家族関係・人間関係	73件
家計・経済	45件
生活技術	20件
就労	6件
社会参加・余暇活動	39件
権利擁護	111件
その他	191件

(2) 相談支援事業所に対する後方支援（専門相談機能） 延べ175件

(3) 自立支援協議会の事務局運営

事務局会議	15回
全体会・定例会・部会他会議の運営	19回
啓発イベント（わ∞ねっとフェア2014）	1回

(4) 事業所連絡会のコーディネート

事業所連絡会、研修会の開催

6回

(5) 開設記念講演会の開催

日時 / 平成26年7月11日 たじりふれ愛センター4階

内容 / 「泉佐野市・田尻町」(一市一町)の共同設置による基幹相談支援センターの新たなるたびだちに向けて～地域ケアシステム構築の観点から～

講師 / 大阪体育大学健康福祉学部 教授 大谷 悟氏

参加数 / 85名

(6) グループホーム学習会

日時 / 平成26年9月29日 たじりふれ愛センター4階

内容 / グループホームって？

親なき後をめぐってグループホームの設置と実際

講師 / NPO法人 出発(たびだち)のなかまの会

参加数 / 25名

2. 障がい者虐待防止センター業務

24時間365日体制の通報ダイヤルを設置し障がい者虐待に関する相談・通報を受け付けた。

障がい者虐待に関する相談：延べ30件

3. 権利擁護支援センター業務

基幹相談支援センター・地域包括支援センター・CSWを相談窓口とし、権利擁護に関する相談ケースの情報共有を行なった。専門相談として、毎月1回弁護士による法律相談を実施した。

相談件数としては、延べ1,967件(各窓口再掲)であった。

平成26年度より泉佐野市において市民後見人養成がはじまり、年度末で市民後見人バンク登録者が8名となった。

[10] 広報宣伝活動の推進と備品の貸し出し

社協機関紙「社協だより」を年6回発行し、社協活動をPRするとともにホームページ、ブログにより広く情報提供を行なった。また、地域の福祉活動を応援するべく、社協備品の貸し出しを行なった。

[11] 日常生活自立支援事業の推進

介護保険制度の実施や社会福祉法の施行により、福祉サービスの利用が措置制度から選択・契約によるサービスへと変わり、判断能力が不十分な方が地域で自立した生活がおくれるよう、在宅者や施設利用者、入院者などへの支援・援助活動を行っている。

なお、成年後見等開始の審判市長申立については、市と連携を図っている。

※ 契約・活動 件数

内 容	本事業の利用に関するもの			合 計
	対象者 状況	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	
活 動 件 数	498	457	280	1,235
新 規 契 約 件 数	0	5	3	8
契 約 件 数	21	15	10	46

[12] 社会福祉協議会会員組織の充実と自主財源の強化

社協会員会費制度の継続加入を図り、各町内会・福祉委員会他、福祉関係団体の協力を得て、7,693,800 円（昨年比 -387,000 円）の浄財が寄せられた。そのうちから、地域の福祉活動に利用していただく為、会員会費の 50%を還付した。さらに、地区福祉委員会活動に 10%還付した。

協賛会員制度については、新規加入が 1 件あり 290,000 円の浄財が寄せられた。

1. 各地区・社協会員会費募集状況

一 小 地 区	1, 5 5 4, 0 0 0 円
二 小 地 区	5 4 0, 0 0 0 円
三 小 地 区	7 6 9, 0 0 0 円
日 新 地 区	1, 0 9 4, 3 0 0 円
中 央 地 区	4 0 0, 0 0 0 円
長 滝 地 区	4 7 7, 0 0 0 円
北 中 地 区	8 9 8, 5 0 0 円
南 中 地 区	2 6 0, 0 0 0 円
長 坂 地 区	3 6 8, 0 0 0 円
佐 野 台 地 区	5 8 3, 0 0 0 円
上 之 郷 地 区	2 5 0, 0 0 0 円
日 根 野 地 区	3 0 0, 0 0 0 円
末 広 地 区	1 2 0, 0 0 0 円
大 土 地 区	8 0, 0 0 0 円
合 計	7, 6 9 3, 8 0 0 円

2. 協賛会員会費募集状況 (1口 10,000円)

泉佐野市長生会連合会	社会福祉法人 いちよの森
社会福祉法人 光会	社会福祉法人 常茂恵会
社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会	社会福祉法人 水平会
社会福祉法人 犬鳴山	社会福祉法人 和泉の国
社会福祉法人 清光会	泉佐野地区 保護司会
社会福祉法人 来友会	泉佐野ルーテル保育園
社会福祉法人 アムリタ	社会福祉法人 あおい会

社会医療法人 栄公会	社会福祉法人 杉の子会
社会福祉法人 日新親友会	社会福祉法人 日根野福祉会
社会福祉法人 清和保育園	社会福祉法人 幸楽会
NPO法人 いきいきくらぶ	泉佐野ロータリークラブ
社会福祉法人 みやび	土丸町会
民生委員児童委員協議会	大木町内会
泉佐野商工会議所	株式会社日王
大阪いずみ市民生活協同組合	

〔13〕 共同募金事業の推進

1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動として広く市民に協力を呼びかけ、戸別募金、街頭募金等を実施した。市内小中学校にも協力を依頼し小学校5校、中学校2校にて児童による募金活動が行われた。

募金額 2,706,688 円（昨年比 -125,044 円）

2. 歳末たすけあい運動

“地域でささえあうあったかい地域づくり”のスローガンにもとづき、「歳末たすけあい運動」を実施した。多くの浄財が寄せられ、ひとり暮らし高齢者の交流会やおせち料理の配食、児童が書いた年賀状の送付、また障がい児者を対象としたふれあいクリスマス会やふれあい交流会、親と子のふれあい人形劇のつどいなどに配分をし、福祉の増進に役立たせていただいた。

募金件数 70件 募金額 1,212,998 円（昨年比 -190,307 円）
払出金額 1,594,947 円

〔14〕 低所得世帯への支援

低所得者世帯や高齢者・障がい者世帯、生計中心者が失業した世帯に対して、大阪府生活福祉資金貸付の窓口として相談を受け付けるとともに、必要に応じて民生委員につなぐなど、世帯の経済的自立を助けた。

また、相談内容により貸付対象に該当しないケースにおいても、必要に応じて社会貢献事業や生活福祉課等の関係機関につなぐ等の総合的相談支援を行なった。

相談件数	289 件		
貸付種類	生活福祉資金 (総合支援資金を除く)	総合支援資金 ※臨時特例つなぎ資金含む	小口生活資金
申込件数	26件	4件	8件
申込金額	15,319,000 円	2,720,716 円	550,000 円

[15] 市立社会福祉センターの管理運営

社会福祉センターの管理運営業務を受託し、施設の環境を整備するとともに利用者が快適に利用できるよう、設備機器の保守点検を委託契約した。

1階大広間の照明器具や大型誘導灯をLEDに改修し、電気代の削減に努めた。

職員研修では、自衛消防訓練、人権研修等を実施し、職員の意識向上を図った。

1. 高齢者・障がい者交流会及び研修会の開催

開催日	研修会名	参加人数
8月20日(水)	健康体操&カラオケ大会 老人福祉センター1階 大広間	90人
2月2日(月)	新春・歌謡ふれあい交流会 ・真河美鈴歌謡ショー・シャッピイ体操 ・抽選会及び甘酒(無料)の振る舞いなど	120人

2. 福祉センター利用状況

風呂利用者数	娯楽室利用者数
8,732人	12,916人

会議室利用件数

	第1会議室	第2会議室	大会議室	合計
午前	114件 1,023人	113件 1,090人	191件 8,893人	418件 11,006人
午後	194件 2,700人	141件 1,596人	190件 8,323人	525件 12,619人
夜間	136件 2,553人	29件 489人	17件 1,230人	182件 4,272人
合計	444件 6,276人	283件 3,175人	398件 18,446人	1,125件 27,897人